

門真市DX推進計画2.0（案）に係るパブリックコメント結果

1 案件名

門真市DX推進計画2.0（案）

2 意見等募集期間

令和7年12月1日（月）～ 令和7年12月26日（金）

3 実施機関（担当所管課）

- (1) 名称：企画財政部 ICT推進課行政DXグループ
- (2) 電話番号：06-6902-5793（直通）

4 閲覧場所

市情報コーナー（市役所別館1階）、市役所本館1階入口、南部市民センター、くらしの相談窓口（そよら古川橋駅前3階）、市民プラザ、市立公民館、ルミエールホール、総合体育館、門真図書館、保健福祉センター、老人福祉センター、高齢者ふれあいセンター、こども発達支援センター、リサイクルプラザ、ICT推進課行政DXグループ（市役所本館3階）、市ホームページ

5 受付した意見等の件数

合計1件

6 意見等に対する考え方

下表のとおり

※下表の「提出された意見」の内容は提出されたご意見を原文のまま記載しています。

	提出された意見	意見等に対する考え方
1	*情報システムの標準化、共通化への対応に関して。 いつまでに完了させるのかがはっきりしているのか。 コストはどのくらいかかるの？ デジタル人材の育成は進んでいるの。 導入にあたって、情報セキュリティ対策をしっかりと行なってほしい。 デジタルデバインドへの対応もお願いします。	貴重なご意見をいただき、ありがとうございます。 本計画（案）の内容に対する修正意見ではなく、市政へのご意見と捉え、計画案自体の修正は行いませんが、ご意見の内容について、以下のとおり考え方を示いたします。 情報システムの標準化・共通化への対応につきましては、令和8年1月末

	<p>時点において、地方公共団体情報システムの標準化に関する法律に基づく20の標準化対象事務のうち、19事務を処理するシステムについては、同法で規定された標準化基準に適合する基幹業務システム（標準準拠システム）へ移行しており、標準化・共通化への対応が完了しております。未完了の1業務については、特定移行支援システムとして、引き続きシステム移行作業を進めることとしており、計画案のスケジュールに記載のとおり、令和10年度の標準準拠システム移行をめざしてまいります。</p> <p>また、コストについては、標準準拠システムを前提とした業務プロセスの見直し・改善や、国等が整備するデジタル共通基盤への対応を進めることなどにより、最適化を図ってまいります。</p> <p>デジタル人材の育成につきましては、各所属にデジタル利活用の中心的な役割を担うDX推進リーダー等の配置をはじめ、職位に応じた研修等を実施しているところであり、これらの取組を継続することにより、デジタル技術やデータの活用を前提とした業務に対応できる職員の育成に取り組んでまいります。</p> <p>情報セキュリティ対策につきましては、本市の情報セキュリティポリシーの適切な見直し・遵守はもとより、業務システム等を対象とした内部監査の定期的な実施や、インシデント対応能力の向上につながる訓練・演習等</p>
--	--

		<p>に取り組むことなどにより、行政サービスの安全性の確保及び情報資産の保護の徹底を図ってまいります。</p> <p>デジタル・デバインド対策については、すべての市民がデジタルの便益を享受できるよう、地域の身近な場所でデジタルを気軽に学べる環境の整備をはじめ、窓口等におけるデジタルに不慣れな方への丁寧な手続支援などに取り組んでまいります。</p>
--	--	--